

# キリンホールディングス株式会社

<https://www.kirin.co.jp/csv/eco/mission/material.html>



## 《将来に向けた取組方針》

キリングroupは、2020年2月に環境ビジョン2050を発表し、「持続可能な生物資源を利用している社会」の実現に向け以下の目標を設定しました。

1. 持続可能な原料農産物の育種・展開および調達を行います。
  - ・FSC®、RSPO、レインフォレスト・アライアンスなどの認証スキームに合致した原料・農産物を調達します。
  - ・地球温暖化に適応した原料を育種し、原料生産地に展開します。
2. 農園に寄り添い原料生産地を持続可能にします。
  - ・レインフォレスト・アライアンスなど持続可能な認証の取得支援を拡大し、生産地域における環境課題などを解決します。
  - ・持続可能な農業による豊かな生物多様性への貢献を調査・研究し、原料生産地に展開します。

## 《具体的取組み事例》

「キリン 午後の紅茶」は30年以上日本の紅茶飲料のトップブランドです。

2010年～2012年に生物多様性のリスク評価を行った時点では、日本が輸入するスリランカ産紅茶葉のうち約25%※を「キリン 午後の紅茶」が使用していました。これを受け、高品質な紅茶葉を持続可能に調達することを目指して、2013年から意欲あるスリランカの紅茶農園に対し、レインフォレスト・アライアンス認証の取得支援を開始しました。2019年には、累計84農園が認証を取得しています。 ※日本紅茶協会2011年紅茶統計より

レインフォレスト・アライアンス認証の認める「持続可能な農園」を増やしていくことで、森林保全、排水管理、野生動物保護など環境保全だけでなく、農園の収量増、茶葉品質向上などの経済効果、茶摘みさんの労働環境向上、子どもの教育実施など、地域コミュニティにもポジティブインパクトを産み出しています。



スリランカの茶葉の持続性の確保には、数十万と言われる家族経営の小農園の認証取得が欠かせません。2025年までに10,000の小農園に認証取得支援を行う目標を立て、2018年から取り組んでいます。さらに、大農園のトレーニング対象の拡大や、農園内にある水源地の保全も始めました。

2020年からは、持続可能な原料農産物の対象と地域を広げ、ベトナムのコーヒー農園でもレインフォレスト・アライアンス認証の取得を支援していきます。

キリングroup環境ビジョン2050

ポジティブインパクトで、豊かな地球を



お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、自然と人にポジティブな影響を創出することで、こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます

キリングgroup環境ビジョン2050

「ポジティブインパクトで、豊かな地球を」

お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、自然と人にポジティブな影響を創出することで、こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます。

FSC®C137754

よろこびがたなく世界へ  
 KIRIN